

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和6年2月 事業所名:つつじ学園 職員数 36 名 回

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	24	12	状況に応じて、共有スペース(集会室・園庭・屋上)を活用したり、屋外の散歩に出かけたり、気持ちの切り替えや気分転換になるよう工夫しています。また、適宜、個室での個別対応も行っています。
	②	職員の配置数は適切である	29	7	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	29	7	段差のない手すりやドア、窓のマジックミラーの設置、パーテーションや指示目的の写真・絵カード等の提示でお子さんの安心につながるような工夫や配慮を行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	31	5	経年劣化等による箇所は、その都度修理を施しております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	30	5	非正規職員も含めた横断的な3グループ(指導事務、健康・安全・防災、研究・研修)を設置しており、定期的な会議等で業務改善を推進しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	34	2	保護者アンケートを実施し、集計結果と分析及び改善の取り組みを保護者にお知らせしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	35	1	事業所向け自己評価や保護者向け評価の結果を踏まえ、適宜、次年度への予算計上や、事業計画へ反映させることで改善に努めています。評価及び改善内容は事業団ホームページで公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	28	7	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	35	1	概ね、月に1～2回程度、施設内で研修を実施し、職員の資質向上を図っています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	35	1	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	29	5	個別支援計画の評価・目標設定等の標準化されたアセスメントツールを既に一部使用しております。

関係機関や保護者との連携	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	35	1	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインに基づき、保護者との面談を重ねながら、保護者の思い、お子さんの状態像や思いを捉え、一人ひとりに応じた支援目標と支援内容を設定しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	34	2	年3回のモニタリング・面談等で支援内容を振り返りながら、その都度、確認しながら進めています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	35	1	各クラスが主体(チーム)となって行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	33	3	・児の理解に合わせあえて同じ取り組みを行うことがあります。 ・固定化が必要な場合が多いが行動や活動ボランティアを導入する等工夫しています。 ・変わらない流れ、活動の中での安心も大切にしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	35	0	個別支援を基本としながら、必要に応じて小集団の活動を組み入れて児童発達支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	29	7	活動日誌等を活用し、時短の職員も含め、一日の流れ、支援目標等を確認しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	28	8	日々、打ち合わせや振り返りを実施し、職員間で共有しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	34	2	記録の項目を支援計画に合わせて設定し、検証できるようにしています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	36	0	年3回のモニタリングや、適宜、個別面談等で保護者の思いを確認しながら見直しをしています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	35	0	基本的に、経験豊かな児童発達支援管理責任者等が参画しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	36	0	市及び関係機関とは、常時、密接に連携を取っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	35	1	普段から、医療機関、保健所、関係機関等と連絡を密に取ることに努め、必要に応じて専門職同士で情報共有・交換を行っています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	34	1	保護者からの依頼に基づき、主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	35	1	日常的に情報交換は行っており、必要に応じて療育経過記録等を通して就学児への引継を行っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	36	0	就学時に学校への申し送りを実施しています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33	3	県内の他市町の事業所と協議会を設けており、定期的に会議や研修を実施しています。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	10	26	
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	22	12	今年度、自立支援協議会に参加し、未就学児の相談に関するパンフレットを作成しました。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	36	0	日頃から、連絡帳、電話、面談等を通して共通の認識や理解が得られるよう努めています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	25	10	親子通園の保護者の療育参加を通して支援を行っています。専門職の職員との対話、面談や研修を適宜、取り入れています。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	33	2	インテークや入園に向けたオリエンテーション等で丁寧に説明しています。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	34	0	日頃より丁寧な説明を心がけ、その上で同意をいただいています。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	35	1	必要に応じて個別相談を行っています。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	36	0	保護者会の会場の提供と各種相談に応じています。学園祭では模擬店を出店していただいています。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	36	0	クラス担任や児童発達支援管理責任者等が必要に応じて対応し、苦情に至る際は、専門の窓口で迅速に対応しています。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	36	0	学園だよりを毎月発行しています。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	36	0	・個人情報を含む書類の回議や回覧の際には中が見えないような配慮を施しています。 ・写真掲載については、希望の確認のため同意書を取っています。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	36	0	実物、絵、写真、文字等の視覚支援により、お子さん一人ひとりが理解できる伝達方法を工夫しています。保護者とは口頭のやり取りだけでなく、適宜、書面等でわかりやすく丁寧にお伝えしています。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	24	11	令和4年度から学園祭を再開しましたが、来賓の参加は見合わせています。地域の会館祭りに作品の展示、市民ボランティアや中高生の体験学習の受け入を随時行っています。
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	36	0	各種マニュアルについては、適宜、見直しをしながら、職員や保護者に通知しています。
非	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	36	0	月1回の火災避難訓練をはじめ、各種災害を想定した訓練を実施しています。年に1回福祉避難所設営訓練を実施しています。
	㉟	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	36	0	入園前のアセスメント及び入園後も定期的に看護師がお子さんの状況を主治医や保護者等に確認し、職員間で共有しています。

常時等の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	36	0	定期的に主治医の指示書を取り、それに基づき看護師や栄養士が主体となり会議等を開き、その結果を職員間で共有しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	35	1	ヒヤリハットが発生した際は、その都度朝礼等で報告し、職員間で共有しながら、再発防止に努めています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	36	0	当法人内の指針等に基づき研修を実施し、日頃より虐待の防止のための注意喚起をしています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している支援計画に記載している	36	0	該当者がいる場合は、当法人内の指針等に基づき保護者に十分に説明を行い、同意を得た上で児童発達支援計画に記載し、定期的にモニタリングを実施しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

収数 36 割合 100 %

課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
年度当初のクラス編成については、専門職員を含めて十分な協議をしておりますが、今年度の課題は次年度のクラス編成に反映してまいります。また、年度途中での柔軟なクラス編成も検討します。
引き続き、法規模より上回った配置数となるよう対処してまいります。また、職員のスキルアップを図り、対応力を上げていくことも大事ですので、研修等を充実させていきます。
テラス等においてある荷物、倉庫内の玩具や什器等は常に整理整頓してまいります。その他、気づいた点は個別に対応してまいります。
修理等の要望については、市と協議し予算要求時に再度必要性を検討します。
保護者からの要望等については、その都度、企画会議等で検討し、改善に取り組んでいます。
現在、第三者による評価は実施しておりません。事業団全体で検討しています。
外部研修についても、その都度、職員の参加を検討しています。
引き続き、子どもと保護者のニーズを受け止め、職員間で連携を密に進めてまいります。
アセスメントツールの検討、活用については継続的に行っていきます。

[illegible]

今後、感染症等の状況を踏まえながら
保育園との交流を再開する見込みで
す。
